自然資本×企業経営を『流域』から考える
9月2日、静岡で公開セミナー

Shizuoka Re:vision Camp運営委員会は、静岡大学山岳流域研究院、静岡県立大学グローバル地域センターとの共同企画として、公開セミナー「静岡の、これからの100年を　流域で、視る。～自然資本が企業経営と繋がるインパクト～」を2026年9月2日に開催する。

本セミナーでは、山から海まで、水を介して自然環境や暮らし、産業がつながる「流域」という視点から、静岡のこれからの100年を考える。

登壇するのは、静岡県立大学副学長の酒井敏氏、十山株式会社の平井岳志氏、静岡大学山岳流域研究院教授の江草智弘氏、栗田工業株式会社の水野誠氏。水害と共生してきた静岡の文化、南アルプスの水源としての価値、静岡の水循環、産業インフラとしての水など、それぞれの専門や事業の立場から話題を提供する。

上流域で育まれた森と水が、下流域の産業や暮らしをどのように支えているのか。自然資本と向き合うビジネスと研究の最前線を「流域」という単位で俯瞰し、100年先も持続可能な企業経営や地域のあり方を考える機会とする。

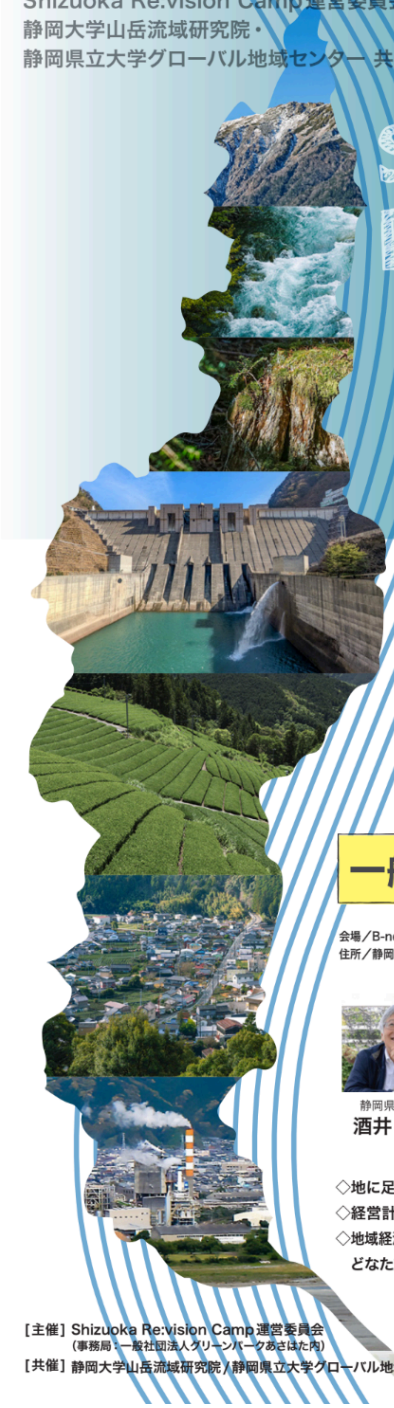
講演後には、登壇者と参加者を交えたトークディスカッションも行う。ネイチャーポジティブへの理解を深めたい人や、ランドスケープの視点から静岡を捉え直したい人、地域経済と自然環境がともに豊かになる未来を考えたい人など、幅広い参加を募っている。

〇開催概要

- 日時：2026年9月2日（水）19:00～21:30（18:30受付開始）
- 会場：B-nest（ビネスト）静岡市産学交流センター プレゼンルーム
- 住所：静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート6階
- 定員：100名
- 参加費：無料
- 申込方法：以下Shizuoka Re:vision Camp公式ウェブサイト内の申込フォームより申し込み
    - https://sites.google.com/view/shizuoka-revision/seminar
- 主催：Shizuoka Re:vision Camp運営委員会
- 共催：静岡大学山岳流域研究院、静岡県立大学グローバル地域センター

Shizuoka Re:vision Camp運営委員会
静岡大学山岳流域研究院・
静岡県立大学グローバル地域センター 共同企画

Shizuoka Re:vision Camp



～ 自然資本が企業経営と繋がるインパクト ～

上流域で森と水が育まれ、下流域ではその水が産業や暮らしを支えている――自然資本と向き合うビジネスと研究の最前線を、「流域」視点で俯瞰し、100年先も持続可能な企業経営を考える公開セミナーです。

Shizuoka Re:vision Camp Open Seminar

静岡の、これからの100年を
流域で、視る。

一般公開セミナー

9/2（水）

会場／B-nest（ビネスト）静岡市産学交流センター プレゼンルーム
住所／静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート6階

19:00～21:30　18:30 受付開始

静岡県立大学
酒井 敏氏

十山株式会社
平井 岳志氏

静岡大学（森林水文学）
江草 智弘氏

栗田工業株式会社
水野 誠氏

定員 100名
参加費 無料

◇地に足が付いた地域連携事業に取り組みたい・企画のヒントが欲しい
◇経営計画にサステナビリティやネイチャーポジティブの推進を盛り込みたい
◇地域経済と自然環境、共に豊かになる未来を想像したいなど、
どなたでも歓迎いたします

お申込みはこちら 9/1 締切

俯瞰力を獲得する連続講座
Shizuoka Re:vision Camp 詳細は裏面へ

［主催］Shizuoka Re:vision Camp運営委員会
（事務局：一般社団法人グリーンパークあさはた内）
［共催］静岡大学山岳流域研究院／静岡県立大学グローバル地域センター